

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-2-5
生活衛生の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

薬事衛生課長 柳 俊徳

電話番号

0852-22-5257

事務事業の名称	動物管理対策事業	
目的	(1) 対象	県民（特に動物飼育者）
	(2) 意図	動物愛護思想、適正飼養の定着を図り、動物による環境侵害等の発生を防止する
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 動物保護管理等対策事業：動物による環境侵害等の改善を図るため、犬猫の引き取り・処分、不適正飼養者の指導、動物取扱施設等の監視・指導・許可を行う。 動物愛護推進事業：動物愛護思想、適正飼養の定着を図るため、住民に対し、広報、講演会、講習会、譲渡会の開催等を行う。 狂犬病予防対策事業：狂犬病のまん延防止を図るため、犬の登録、狂犬病予防注射及び適正飼育について普及啓発する。 化製場等対策事業：環境汚染の防止を図るため、化製場等に対し、法に基づき監視・指導を行う。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 犬・ねこ引取り頭数（取組目標値は修正後）	目標値		1,000.0	1,000.0	675.0	675.0	頭
		取組目標値			710.0	650.0	590.0	
	式・定義 犬・ねこ引取り頭数	実績値	947.0	780.0				
		達成率	-	122.0				%
2	指標名 犬・ねこ殺処分数	目標値			360.0	285.0	225.0	頭
		取組目標値			257.0	203.0	160.0	
	式・定義 犬・ねこ殺処分数	実績値						
		達成率	-	-				%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	25,504	24,851
うち一般財源(千円)	24,704	23,990

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・犬・猫の引取数は年々減少し既に目標達成。
 犬・猫の引取数 H24：2,261 H25：1,766 H26：1,554 H27：947 H28：780
 ・やむを得ず収容した犬、猫は、ボランティアの協力によって極力譲渡。しかし、未だ多くの動物を殺処分している現状にある。
 犬・猫の殺処分 H24：2,121 H25：1,574 H26：1,274 H27：662 H28：487
 犬・猫の譲渡数 H24：362 H25：337 H26：399 H27：387 H28：384
 （ボランティア譲渡） (129) (152) (220) (254) (160)

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・動物の引取数は年々減少、動物愛護思想（終生飼育）が浸透し、各種の取組みの成果が見受けられる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

- 殺処分される動物がいまだに多い。特に、所有者不明の仔猫処分量が高い。
- 不妊、去勢せず生まれた動物の引取りが多くを占め、飼い主責任が徹底していない。
- 動物譲渡に関して、ボランティア依存が高く、彼らに行政支援をしていない。
- 動物愛護棟（出雲保健所敷地内設置）が十分活用されていない。
- 動物愛護棟の専属獣医師は現在1名であり、技術維持が困難。
- 動物殺処分に費用がかかる。

②困っている状況が発生している「原因」

- 動物愛護思想（特に飼い主責任）の普及啓発が不十分
- ボランティアとの連携が不十分。行政支援のしきみが無い。
- 県職獣医師確保に苦戦し、動物愛護棟に複数配置できない状況が続いている。

③原因を解消するための「課題」

- 動物愛護思想（特に飼い主責任）の普及啓発
- ボランティア協働の進め方
- 動物愛護棟の効果的活用
- 獣医師不足解消のための技術支援
- 地域猫活動（TNR）の幅広い運用

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・本県が進めてきた動物愛護施策を根本的に検証し、“動物の殺処分ゼロ”に向けて新たな課題の検討を始めたところ。
 ・外部専門家、ボランティアを加えた「動物愛護推進検討会」を立ち上げ（H29.5）、県をはじめ、市町村、ボランティア、関係団体一体となった取組みを検討していく。
 ・上記検討会での検討課題
 ①県民への動物愛護に関する普及・啓発の強化
 ②動物愛護を進める組織体制の整備・・・獣医師の配置、確保、動物愛護棟と各保健所の役割整理
 ③ボランティア協働の進め方
 ④公益社団法人島根県獣医師会からの技術支援等、関係団体との連携
 ・なお、検討結果を島根県動物愛護管理推進会議に報告し、県の新たな目標値を設定することとしている。
 （成果参考指標値を変更する方向で検討）